

平成27年度学融合レクチャー シラバス

科目名称Subject Name	必須	科学コミュニケーション
履修年度Academic Year	必須	2015
開始時期Lecture starts at	必須	<input checked="" type="checkbox"/> 前期1st semester / <input type="checkbox"/> 後期2nd semester (チェックボックス) 記 (両期にわたる場合には両方チェックすること)
開講期間Lecture period	必須	<input type="checkbox"/> 半期Half year / <input type="checkbox"/> 通年Whole year / <input checked="" type="checkbox"/> 集中 intensive course (チェックボックス)
単位数Credit	必須	<input checked="" type="checkbox"/> 1 / <input type="checkbox"/> 2 / <input type="checkbox"/> 4 / <input type="checkbox"/> 8 / <input type="checkbox"/> その他
授業形態Class methods		<input checked="" type="checkbox"/> 講義lectures / <input checked="" type="checkbox"/> 演習seminar / <input type="checkbox"/> 実験experiments / <input type="checkbox"/> 実習practical training / <input type="checkbox"/> 実技skills practice (チェックボックス)
科目の概要Outline	必須	現実の科学研究は社会の中で行われる「社会的行為」であり、今後の科学者は、社会における科学の役割、科学における社会的側面について無関心では済ませられない。本講義では、科学と社会の間の情報交換をいかに行うか、それが実際にはいかに行われているか、についての基本知識、及びそれを活用するための実際的知識を学習する。また、社会の中で科学がどのように位置づけられているかを学び、研究者として社会的責任を考える。
講義目的Purpose	必須	本講義の目的は、多様な分野で活躍する研究者を目指す若い大学院生へ、科学コミュニケーションの基礎を身につけてもらい、それを自分の研究活動に活かす方法を考えてもらうことである。
到達目標Attainment target	必須	本レクチャーの目標は、社会とのコミュニケーションを意識しつつ、それを活かすことのできる研究者を養成することである。そのための基本的な方法を理解する。具体的には、①科学者の説明責任について理解する。②分野外の研究者や一般を対象とした研究紹介を円滑に行えることを目指す。③科学報道を中心に、社会における科学の情報流通についての理解を深める。
各回ごとの授業内容Contents	必須	平成27年8月10日～12日集中講義として開催。 8月10日 「科学コミュニケーション概論」(90分) 担当: 森田洋平(沖縄科学技術大学院大学) 「科学の成果がニュースになるまで」(90分) 担当: 倉田智子(基礎生物学専攻) 演習Ⅰ(90分) 専門外の聴衆に向けた口答での研究紹介のポイントを理解する。 担当: 倉田・眞山・平田・森田 8月11日 「科学技術社会論」(90分) 担当: 平田光司(生命共生体進化学専攻・学融合推進センター) 「研究者のアウトリーチ」(90分) 担当: 眞山聡(広報室・学融合推進センター・天文科学専攻) マスメディアと科学Ⅰ(90分) 担当: 高橋真理子(朝日新聞編集委員 朝日新聞社) マスメディアと科学Ⅱ(90分)「研究者にもウケる科学ドキュメンタリー番組の作り方 ～ガリレオXの現場より～」担当: 泉大知(TV番組ガリレオX ディレクター ワック株式会社) 演習Ⅱ(90分) 研究紹介の文章執筆を行う。担当: 教員全員 8月12日 演習Ⅲ(90分)および演習Ⅳ(90分) 教員、院生全員で各自の執筆内容の相互評価を行い記事を完成させる。 担当: 教員全員
準備学習についての具体的指示Homework	必須	特になし。
使用言語Language		<input checked="" type="checkbox"/> 日本語 Japanese / <input type="checkbox"/> 英語English / <input type="checkbox"/> その他Others(「日本語で行うがスライドは英語で留学生も履修可」など)
成績評価方法・基準Grades	必須	全講義出席、及びレポート提出を単位取得の前提条件とする。レポート(50%)、参加貢献度(50%)で評価する。
関連科目・履修条件Relation Subject	必須	特になし。
対象学年Appropriate grade level	必須	<input type="checkbox"/> 1 1st / <input type="checkbox"/> 2 2nd / <input type="checkbox"/> 3 3rd / <input type="checkbox"/> 4 4th / <input type="checkbox"/> 5 5th grade / <input checked="" type="checkbox"/> 全て All (チェックボックス)
スケジュールLecture Schedule	必須	平成27年8月10日(月)～平成27年8月12日(水) 合宿

平成27年度学融合レクチャー シラバス

実施場所Location	必須	自然科学研究機構 国立天文台 野辺山キャンパス
教科書Textbook	必須	講義資料は当日配布を行う。
参考文献Lecture materials	必須	特になし。
キーワードKeyword	必須	科学コミュニケーション、メディアリレーション、広報、アウトリーチ
備考Note	必須	授業担当:基礎生物学専攻・助教・倉田智子、学長付・広報室・学融合推進センター・天文科学専攻・講師・眞山聡、生命共生体進化学専攻・学融合推進センター・教授・平田光司、沖縄科学技術大学院大学・森田洋平副学長代理、朝日新聞社・高橋真理子、ワック株式会社・泉大知
科目担当教員Lecturer	必須	倉田智子
担当教員の連絡先		tel: 0564-55-7628、tkurata@nibb.ac.jp